

推薦調書（アイデア部門）

	推薦都道府県	北海道	
地方公共団体名	北海道 神恵内村		
アイデア名称	神恵内からはばたく・神恵内に戻るデジタル活用小中一貫キャリア教育 ～神恵内 U15（神恵内の子供たち）の未来を拓く教育の実現～		
連携自治体、企業、団体等	富士通 Japan 株式会社、札幌市立大学		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野）
	教育 【デジタルを活用した取組の全体概要】 ○当村の小・中学校に通学する児童生徒に対し、デジタル技術を活用した「子供たちと村の未来に資するキャリア教育」を実現する。 【実施に至る経緯・動機】 ○当村の小中学校の児童・生徒は 合計 43 名であるが、その大半は中学卒業後村外の高等学校へ進学する。限られたコミュニティの中で生活しているため、明確なキャリアについて方向性がないこと、また村内産業に理解のないまま進学するため、社会人となって他地区へ移住することが多い。 村民アンケートでは、「将来のキャリア情報が少ないため、勉強のモチベーションが低い」「他地域に比べ学習時間が少ない子供が多い」と結果がでており、当村の実情に即したキャリア教育の実施と学習モチベーションを高めることによる学習時間の拡大が課題となっている。 今回の取組は上記の課題をデジタル技術を用いて、神恵内から未来を担う人材を育て、日本および神恵内村を支える人材を輩出できる「デジタル活用したキャリア教育先進自治体」を目指すものである。 【解決する課題の具体的な内容】 ○ 教育の DX 化」により下記の具体的な課題を解決する。 ■ 個別最適化・教員負荷軽減：（デジタル手書き学習ドリル）GIGA スクールにて配備されたタブレットによる、一人ひとりの学習深度に応じた学習を可能とする。また自動採点により教員の負荷を軽減する。 ■ 村内産業理解・情報発信力育成：（オンライン村内産業動画の作成体験）一人一人が村内産業を取材し動画編集することにより、村の産業の素晴らしさを学習するとともに、デジタル活用した情報発信手法を取得する。 ■ 論理的思考・デジタル人材の育成：（オンラインプログラミング学習）プログラミング教育を実施し論理的思考力を身に着けるとともに、ICT に対する興味関心を喚起しデジタル活用人材となりうる素養を醸成する。		

デジタルの活用により目指す成果（数値）	2022 年度末目標 デジタル教材利用時間 5 時間/週 プログラミング教育の参加者数 15 名（中学生 10 名、小学校 5 名） オンライン教育に関する満足度を（取り組み姿勢やモチベーションの向上、理解度について児童生徒、学校関係者を対象者に対象にしたアンケートを実施） キャリア目標達成率 70% （3～6 か月程度の短期目標）（子ども達が策定した短期目標（期首に目標を立て、期末に評価）の達成状況を確認する） （プログラミングに関する知識や技術などといった、キャリア計画で設定した短期目標の達成状況を把握する）（目標の見直しや新たな目標設定を行う習慣を身に着ける）
本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	本事業では、オンラインとオンサイトを組み合わせつつ、村外へと学びの範囲を拡げ、未来を担う当村の子供たちにキャリア教育を実施する。具体的には、 ・動画作成を通じて村内産業を取材し、当村の未来を考えるきっかけとする。その上でデジタル発信能力を身に着ける。 ・当村では、本事業とは別に役場内に公設塾の設置を計画している。学校運営協議会（CS）による地域と共にある学校づくりと共に、役場の職員および村民の中で学習をすることにより、地域全員が育てる子供たちとし、当村への愛村マインドを定着させたい。 ・今回同時にデジタルコミュニティの基盤を村内に配備する予定である。デジタルコミュニティ基盤と連動し、学校行事への参画を呼びかけることにより地域とともにある学校とする。と同時に、協力予定のグローバル企業との連携により、デジタルを活用したグローバルを見渡せる人材の育成を図る。 ・ICTを活用することで、神恵内村に居ながら情報を発信し、その情報に対する評価を村内外から受けられる利点を体験することで、郷土愛を育てながらも視野を拡げアントレプレナー教育への一歩とする。
今後の展望	今回のデジタル活用による教育の取組をきっかけとし、学校運営協議会（CS）による地域と共にある学校づくりと、同時に進めている地域コミュニティ DX により、地域全員が子供たちを育てる風土とし、当村への愛村マインドを定着させたい。 学校運営協議会を中心に、学習内容の評価を実施し、デジタルテキストの内容は、より地域に則した内容や学習へと更新を行っていく。 また、デジタル活用の利点を活かし、本取組を発展させ子供たちの視野が広がるような実践的な学びの実施を、他のデジタルに取り組む自治体や機関と推進したい。

神恵内からはばたく・神恵内に戻るデジタル活用小中一貫キャリア教育 ～神恵内U15（神恵内の子供たち）の未来を拓く教育の実現～

地域課題

「将来のキャリア情報が少ないため、勉強のモチベーションが低い」「他地域に比べ学習時間が少ない子供が多い」
➡ 神恵内村の実情に即したキャリア教育の実施と学習モチベーションを高めることによる学習時間の拡大

